

公益社団法人日本騒音制御工学会

平成25年度 事業報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日

I. 一般的事項

1. 会員現況

会員種別	平成25年度		
	平成25. 4. 1 現在数 (A)	平成26. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)
名誉会員	19	20	1
正会員	917	898	-19
学生会員	13	16	3
賛助会員	101社 (113口)	103社 (115口)	2社 (2口)
団体会員A	0社 (0口)	0社 (0口)	0社 (0口)
団体会員B	10社 (10口)	10社 (10口)	0社 (0口)
団体会員C	142社 (142口)	142社 (142口)	0社 (0口)
団体会員D		2社 (2口)	2社 (2口)

2. 規則等の制定・改正

- ・会費規程の改正(平成25年5月31日施行)
- ・入会及び退会規程の改正(平成25年5月31日施行)
- ・職員就業規則の改正(平成25年9月30日施行)
- ・組織及び運営に関する規程の改正(平成26年3月1日施行)

3. 定時総会の開催

平成25年度の定時総会は、平成25年5月31日に弘済会館4階会議室「きく梅」にて開催した。出席者は515名(うち委任状提出者は458名)であった。

4. 理事会並びに部会・委員会活動

平成25年度の理事会並びに部会・委員会等の活動状況は以下の通りである。

会議名称	期 日	場 所	主な審議項目
理事会	平成25年5月7日	工学会事務所会議室	平成24年度事業報告、決算及び監査結果について
	平成25年5月31日	工学会事務所会議室	平成25年定時総会資料及び評議員会資料について
	平成25年7月10日	工学会事務所会議室	社会貢献、会勢拡大及び秋季研究発表会について
	平成25年9月4日	熊本大学工学部 2号館学生支援相談室	平成25(2014)年春季研究発表会実行委員の選任及び第20期役員選挙選挙管理委員の推薦について
	平成25年11月7日	工学会事務所会議室	平成 25(2013)年秋季研究発表会実行委員及び役員選挙管理委員の選任について
	平成25年12月11日	工学会事務所会議室	第20期役員選挙候補者絞込投票について
	平成26年1月24日	工学会事務所会議室	学会規則改正及び選奨、認定技士資格審査委員の承認について
	平成26年3月31日	工学会事務所会議室	平成26年度事業計画及び予算案について、学会規則等の改訂について、平成25年度の選奨及び名誉会員の推薦について
評議員会	平成25年5月31日	工学会事務所会議室	会勢拡大、社会貢献、規則改正等について
総務部会	平成25年4月25日	工学会事務所会議室	24年度報告、25年度計画について
	平成25年7月03日	工学会事務所会議室	社会貢献、会勢拡大等について
	平成25年8月29日	工学会事務所会議室	平成25(2013)年春季研究発表会実行委員の選任、規則改正、選挙管理委員会、組織改造等について
	平成25年10月30日	工学会事務所会議室	平成 26(2014)年秋季研究発表会実行委員、受託事業、選挙管理委員会、倫理委員会等について
	平成26年1月20日	工学会事務所会議室	平成26年度定時総会、規則改正、選奨、認定技士資格審査等について
	平成25年3月20日	工学会事務所会議室	平成26年度事業計画及び予算案、規則改正、平成25年度の選奨及び名誉会員の推薦等について
事業部会	平成25年5月20日	工学会事務所会議室	第85回技術講習会実施報告 第86回技術講習会準備状況 追加講習会の企画について
	平成25年7月26日	工学会事務所会議室	第86回技術講習会実施報告

			第87回技術講習会準備状況 第88回技術講習会企画について
	平成25年10月1日	工学会事務所会議室	第87回技術講習会準備状況 第88回技術講習会準備状況 第89回技術講習会企画について
	平成25年12月3日	工学会事務所会議室	第87、88回技術講習会実施報告 第89、90回技術講習会準備状況について
	平成26年1月28日	工学会事務所会議室	第88回技術講習会実施報告 第89、90回技術講習会準備状況 平成26年度事業計画について
	平成26年3月4日	工学会事務所会議室	第89回技術講習会実施報告 第90、91回技術講習会準備状況について
図書出版部会	平成25年4月11日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズ進捗報告／Dr. Noiseキャラクターの決定と使い方の確認について
	平成25年6月19日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズ進捗確認／Dr. Noiseの女性バージョンなどについて
	平成25年8月5日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズ進捗確認／資格取得に関する問題集について
	平成25年10月9日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズ進捗確認 / 「住宅と音」フレーム案、「低周波音の話」再構築について
	平成25年12月4日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズ進捗確認 / 「バリアフリーと音」、「騒音の基礎」など確認について
	平成26年2月13日	工学会事務所会議室	Dr. Noiseの『読む』音の本シリーズキャラクター案決定新規企画案検討について
研究部会	平成25年4月22日	国立オリンピック記念青少年総合センター	春季、秋季研究発表会の準備状況フォロー、分科会の活動状況フォロー、研究発表会に関する検討について
	平成25年7月29日	工学会事務所会議室	春季、秋季研究発表会の準備状況フォロー、分科会の活動状況フォロー、研究発表会に関する検討について
	平成25年10月22日	工学会事務所会議室	春季、秋季研究発表会の準備状況フォロー、分科会の活動状況フォロー、研究発表会の制度変更について 春季研究発表会の開催体制の変更提案について 研究発表会企画部会の廃止について

			講演論文集に関する検討
	平成26年2月27日	工学会事務所会議室	春季、秋季研究発表会の準備状況フォロー、分科会の活動状況フォロー、春季研究発表会の開催体制の変更について 秋季研究発表会向けシンポジウム、オーガナイズドセッションのテーマの立案 春季研究発表会の参加費等の見直し案について
平成26年秋季研究発表会実行委員会	平成26年2月18日	明治大学中野キャンパス 512教室	委員紹介、研究発表会運営チェックリストの確認、役割分担、会場設備等の確認
	平成26年3月17日	工学会事務所会議室	シンポジウム、オーガナイズドセッションのテーマの検討
研究発表会企画部会	平成25年4月22日	国立オリンピック記念青少年総合センター 409号室	平成25年秋季研究発表会の準備状況、本部会の廃止などについて
	平成25年9月6日	熊本大学工学部 2号館学生支援相談室	平成26年春季研究発表会の準備状況、研究発表会運営マニュアルの充実について
国際部会	平成25年9月11日	メールによる審議	INTER-NOISE 2013におけるI-INCE総会出席者の確認 INTER-NOISE DVD発売の会員への広報について確認
会誌編集部会	平成25年4月16日	工学会事務所会議室	特集 37巻3号～37巻6号 査読 3件(3号掲載 2件含む)
	平成25年5月14日	工学会事務所会議室	特集 37巻3号～37巻6号 査読 3件(3号掲載 2件含む)
	平成25年6月18日	工学会事務所会議室	特集 37巻4号～38巻1号 査読 1件
	平成25年7月16日	工学会事務所会議室	特集 37巻4号～38巻1号 査読 1件
	平成25年8月20日	工学会事務所会議室	特集 37巻5号～38巻2号 査読 1件
	平成25年9月11日	工学会事務所会議室	特集 37巻5号～38巻2号 査読 1件
	平成25年10月15日	工学会事務所会議室	特集 37巻6号～38巻3号 査読 1件
	平成25年11月12日	工学会事務所会議室	特集 37巻6号～38巻3号 査読 2件
	平成25年12月10日	工学会事務所会議室	特集 38巻1号～38巻4号 査読 3件
	平成26年1月14日	工学会事務所会議室	特集 38巻1号～38巻4号 査読 3件(1号掲載 1件含む)

	平成26年2月17日	工学会事務所会議室	特集 38巻2号～38巻5号 査読 3件(1号掲載 1件、2号掲載 2件含む)
	平成26年3月13日	工学会事務所会議室	特集 38巻2号～38巻5号 査読 2件(2号掲載 2件含む)
広報部会	平成25年5月21日	工学会事務所会議室	ホームページ(会員専用ページ、選奨、学会誌)の更新について 会員コラム、・Q&Aについて
	平成25年7月22日	工学会事務所会議室	ホームページ(組織図、分科会、学会規則)の更新について 会員コラム・Q&Aについて
	平成25年9月30日	工学会事務所会議室	ホームページ(社会貢献部会、会員案内、英語版)の更新について 会員コラム・Q&Aについて
	平成25年11月29日	東京大学生産技術研究所会議室	ホームページ(学会誌、英語版、パスワード)の更新について 会員コラム・Q&Aについて
	平成26年2月28日	工学会事務所会議室	ホームページ(分科会、英語版、パスワード、研究発表会論文集公開、春季研究発表会)の更新について 会員コラム・Q&Aについて
会勢拡大部会	平成25年4月18日	工学会事務所会議室	荘美知子・ファインゴールド記念基金の運営について
	平成25年6月21日	工学会事務所会議室	会員会費の特例制度などの導入について 荘美知子・ファインゴールド記念基金の運営について他
	平成25年8月7日	工学会事務所会議室	会費制度改正に係るお知らせ会告案について
	平成25年10月8日	工学会事務所会議室	特例制度申込み期間等について その他、会勢拡大について
	平成25年12月9日	工学会事務所会議室	会勢拡大の方策等について
	平成26年2月14日	工学会事務所会議室	荘美知子・ファインゴールド記念基金運用報告について
	平成26年2月14日	工学会事務所会議室	荘美知子・ファインゴールド記念基金運用報告について
広告拡大部会	平成25年8月6日	工学会事務所会議室	広告募集先の検討 会誌、研究発表会論文集への企画広告掲載など検討
社会貢献部会	平成25年5月13日	工学会事務所会議室	千代田区「環境リサイクル祭り」等について
	平成25年6月20日	工学会事務所会議室	HPへの活動報告掲載等について
	平成25年8月7日	工学会事務所会議室	あいち環境学習プラザ「夏休み環境学習講座」等について
	平成25年9月30日	工学会事務所会議室	千葉県立中央博物館「サウンドスケープの教室」等について
	平成25年12月6日	工学会事務所会議室	平成25年度社会貢献活動のまとめ

	平成26年2月26日	工学会事務所会議室	平成26年度社会貢献活動について
研究功績賞選定委員会	平成26年2月18日	工学会事務所会議室	対象となる功績者の選定と審査基準の確認等
	平成26年3月20日	工学会事務所会議室	審査結果と受賞候補者の確認
環境デザイン賞選定委員会	平成26年2月18日	工学会事務所会議室	対象となる研究開発等の業績の選定と審査基準の確認等
	平成26年3月20日	工学会事務所会議室	審査結果と受賞候補者の確認
研究奨励賞選定委員会	平成26年2月18日	工学会事務所会議室	対象となる研究発表の選定と審査基準の確認等
	平成26年3月20日	工学会事務所会議室	審査結果の確認と受賞候補者の選定
守田栄論文賞選定委員会	平成26年2月18日	工学会事務所会議室	対象となる研究論文の選定と審査基準の確認等
	平成26年3月20日	工学会事務所会議室	審査結果の確認と受賞候補者の選定
規則改正部会	平成25年4月19日	工学会事務所会議室	職員給与の見直しについて 組織及び運営に関する規程他の検討
	平成25年5月22日	工学会事務所会議室	職員就業規則、組織及び運営に関する規程他の検討
	平成25年6月24日	工学会事務所会議室	職員就業規則、組織及び運営に関する規程他の検討
	平成25年7月17日	工学会事務所会議室	職員就業規則、選挙関連規則の改正について検討
	平成25年8月21日	工学会事務所会議室	職員就業規則の最終確認、組織及び運営に関する規則の検討
	平成25年10月10日	工学会事務所会議室	組織及び運営に関する規則の検討。今後の作業工程について検討
	平成25年12月22日	工学会事務所会議室	役員報酬規程、会費規程、組織及び運営に関する規程の確認
	平成26年3月27日	工学会事務所会議室	組織及び運営に関する規則、倫理規定、会費規程等について検討

Ⅱ. 騒音及び振動に関する学術・技術の発展と普及・啓発を図り、もって国民の生活環境の保全と質の向上に寄与する事業(公益目的事業)

1. 調査・研究を行う事業

1.1 研究部会及び研究分科会等における活動

(1) 研究部会の活動

研究部会では、平成26年春季研究発表会及び平成26年秋季研究発表会の開催地を決定するとともに、その実行委員会を立ち上げ運営を委託した。各発表会の円滑な運営及び発表会間の運営手法の連続性の維持を目的とし、運営マニュアルを整備した。研究発表会への学生の参加を促進するため、参加費の引き下げを提案し、理事会で了承を受け、平成25年春季研究発表会から適用することとした。下記研究分科会活動を統括フォローし、その活発な活動を奨励支援した。

(2) 個々の研究分科会の活動内容は以下のとおりである。

・ 遮音分科会

平成25年度は18名の委員で活動し、7回の分科会を開催した。引き続き、外部騒音が大きい状況下において、集合住宅等の窓サッシを対象とした内外音圧レベル差を測定するために、インパルス応答(Swept Sine法)を用いる方法について検討している。昨年度までに得られた知見を平成25年秋季研究発表会で報告した。

今年度は、主に実現場でS/Nを簡易に把握する方法について、2回の実験を通して検討した。また、今後の活動計画に関連して、室内騒音の評価・実験手法についても活発に討議した。インパルス応答を用いた測定方法は、来年度も実験方法等を見直しながらか、継続して取り組んでいく予定である。

・ 床衝撃音分科会

分科会の下に実衝撃源検討WGと乾式二重床WGを組織して活動しており、今年度は分科会を6回、実衝撃源検討WGを5回、乾式二重床WGを8回開催した。実衝撃源検討WGでは、人の歩行や小走りによる床衝撃音の簡便な低減対策として、室内履き(スリッパなど)に着目し、低減効果の定量的な把握を進めるとともに、低減効果の発現メカニズムに関する検討を行った。乾式二重床WGでは前年度から引き続き、乾式二重床の床衝撃音遮断性能に対する影響要因の抽出と定量的な把握を目的として、委員から提供された実建物における床衝撃音低減性能、乾式二重床の仕様や納まりのデータの検討と、既往文献の調査を進めた。得られた成果は平成25年秋季研究発表会において2件公表した。またオーガナイザーを担当する平成26年春季研究発表会における2件の公表と、平成26年8月に分科会報告会の開催を企画し準備を進めた。

・ 環境騒音振動行政分科会

26名の委員と環境省オブザーバー4名により構成されている。平成25年度は4回の会合を持ち、全国の区市の騒音振動担当者を対象としたアンケート調査(①騒音振動業務等に関するアンケート・平成25年5月、②騒音計及び振動レベル計の管理状態に関するアンケート・平成25年12月)を行った。アンケートの集計作業は分担して行い、共同調査の結果はH26春季研究発表会のオーガナイズドセッション(騒音行政の現状と課題)で報告することとしている。

また、騒音計・振動レベル計の精度管理状況、音波干渉型遮音パネルの紹介、秋季研究発表会の報告等、委員が提供する話題をもとに自由に意見交換を行った。

・騒音伝搬分科会

本分科会は、地形条件や気象の影響など屋外の音響伝搬の実測・予測に関する諸問題について情報を共有し、関連する国際規格などについて意見を集約することを主目的とする。今年度は4月23日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された春季研究発表会のオーガナイズドセッションを担当し、『音環境評価のための屋外伝搬音長期計測』をテーマとして、航空機、風力発電、砲撃音、防災放送、環境騒音、火山噴火に起因する低周波音などバラエティーに富んだ様々な音源に対する話題を盛り込むことができた。今年度の活動方針として、「音響伝搬に関する予測とその理論背景」に関して委員間で共有できる情報を整理することとし、分科会委員以外の方を招いてお話を伺うなど、話題提供とその内容についての議論という形で分科会を進めた。今年度は3回の分科会を開催した。また、若手中心の委員により進められている科研費の基盤研究(B)『防災音声放送の聞こえにくさを「見せる化」するハザードマップの推計手法』の途中研究成果を当学会と音響学会で発表し、防災放送の了解度に対して気象条件の影響が日々変化している可能性があることを報告した。

・低周波音分科会

平成25年度は、計4回(通算第87回～第90回)の分科会を開催した。おもな討議内容(話題)は、次のとおりである。

オスプレイからの低周波音・騒音の特性について／風車音の実測調査結果について／超・低周波音による健康被害の状況(発症メカニズムの一考察)／低周波音測定におけるマイクロホン高さの検討／家屋内外における低周波音の音圧レベル分布(低周波音発生装置と模擬家屋を用いたフィールド試験結果)等である。その他、インスブルックInter-Noise 2013報告や、視察と分科会を兼ねて鉄道総合技術研究所風洞技術センター(米原)を見学した。今後、低周波音の影響・評価に関するWGを設置して、低周波音の計測・評価法に関する学会基準の策定などについて検討していく予定である。

・アクティブコントロール分科会

今年度の第1回(通算第28回)分科会を、7月26日(金)に関西大学東京センターにおいて開催した。本分科会ではアクティブノイズコントロールにおける最新の技術に関して2名の委員に話題提供いただいた。まず、コダウェイ研究所(元兵庫県立大学教授)の藤井健作氏に「フィードフォワード型能動騒音制御において帰還系が引き起こす問題とその解決法としての連立方程式法」というタイトルでANCにおける諸問題とそれらの新しい解決法について話題提供いただいた。次に、本田技術研究所の井上敏郎氏に「車室内の低周波音低減のための統合ANCシステムの開発」というタイトルで車用のANCにおける最新技術について話題提供いただいた。委員およびオブザーバーも含めて11名が参加し、活発な議論が行われた。第2回(通算第29回)の分科会は1月23日(木)に関西大学で開催された先端科学技術シンポジウムの騒音振動制御セッションに相乗りの形で実施した。講演は鳥取大学の西村正治先生に「各種低騒音化デバイスの開発(パッシブ／アクティブ)」と題して発表いただき。また、主査の梶川より「アクティブノイズコントロールにおける最近の話題」と題して最近のANC技術の国内外動向について話題提供を行った。分科会メンバー以外の一般聴講もあったため、おおよそ50名程度の参加となった。さらに、セッション前には主査の梶川の研究室見学を実施した。分科会メンバー10名が研究室見学を行い、活発に議論を行った。

・音環境デザイン分科会

今年度は、春季研究発表会において、オーガナイズドセッション「音環境の未来を構想す

る」を企画・開催し、分科会メンバー5名が、これまでの分科会活動の成果に基づいて、騒音政策をテーマとした講演を行った。また、7/29、11/29、3/31に、計3回の分科会を開催し、分科会メンバーを再確認するとともに、今後の分科会活動を、我が国の環境アセスメントを対象とする方針とした。分科会では、各種法令や条例に基づくアセスメントにおいて、欧米と比較して技術的に立ち遅れていること、WHOガイドラインなど近年の騒音影響の知見が考慮されていないこと、住民参加が機能していないことなど、数多くの課題が指摘された。また、これらの課題を解決していくためには、アセスメントに係る情報を住民に提供する際に「目指すべき音環境」の指針を明確にしておく必要があるという結論に至った。関連する政策・法令・各種ガイドラインなどの資料に基づいて、「目指すべき音環境」の具体的な内容について、その輪郭を検討中である。

・環境振動評価分科会

環境振動評価に係る最新情報の共有と整理、それに基づく意見交換、委員間の共同研究の推進などを目的として、年4回の分科会を開催した。今年度の主な活動としては、(1)振動測定マニュアル(案)の改定、(2)振動評価方法の提案、それぞれに向けた検討であった。(1)については、分科会ホームページでマニュアル(案)をダウンロード可能な状態としており、これまでのダウンロードは200件を超えた。分科会メンバーによる試行や、その他のユーザーからの意見を踏まえる形で、分科会推奨の測定法の公表を検討してきている。(2)については、上記測定マニュアルによる測定結果に対して適用できる環境振動評価方法の提案に向け、既往の研究や調査における実験室実験、社会調査により得られている知見を分科会内で共有し、それらを踏まえた評価方法の提示を検討してきた。

・道路交通振動予測式作成分科会

平成25年度は、4/25、6/27、9/3、12/3、2/27の5回分科会を開催した。なお、平成26年度の第1回会合は、4/14に行われる予定である。平成25年度の各WGの活動経過は次のとおりである。

1) アンケートWG：道路交通振動の予測に関するアンケートを実施した。アンケート対象は、コンサルタンツ会社・設計事務所・ゼネコン・自治体環境部局などである。アンケート結果のまとめは、4/23のオーガナイズドセッションで発表する。

2) 平坦・盛土・切土WG：盛土部に2.5次元境界要素法を適用して、大型自動車の走行時のユニットパターンを検討している。これについてもオーガナイズドセッションで発表予定である。

3) 高架橋WG：昨年度実施した高架橋での大規模実験データの整理と数値シミュレーション、および今期実施した下部工とその周辺地盤の振動データの整理を実施している。RTVモデル(高架橋)を作成する目的で、橋梁構造・地盤種別・走行荷重などのパラメータでユニットパターンがどのように変化するかを検討して行く予定である。前述のWGと同様に、オーガナイズドセッションで発表する予定である。

・設備機器発生音測定法分科会

各種設備機器の中から、近年測定・調査依頼の件数が多い立体駐車場からの騒音問題を対象として活動を行なっている。具体的な活動内容として、発生振動・騒音対策立案のための測定方法の現状について、各委員より現状を報告いただき、問題点などの抽出を行なった。これらのデータを整理し、標準的な測定点の取り方、稼働条件、測定量などについてマニュアルを作成し、提案する予定である

・社会調査データアーカイブ分科会

日本の社会音響調査データアーカイブについて、データセットの整備並びに寄託及び受け入れ体制の整備を続けている。このデータアーカイブを利用して、日本の交通騒音に関する暴露－反応関係についても報告を行った。その他には、本分科会委員がメンバーとなっている科研費の基盤研究(C)「アジアの社会音響調査データアーカイブの設立とその二次分析への活用」(代表：川井敬二)が平成25年度に採択されたことから、アジアの社会音響調査データアーカイブの設立に向けて活動を進めている。具体的には、香港の研究者を招聘してデータアーカイブ設立の協力を要請するとともに、韓国の研究者とも平成26年度以降の共同研究について協議を行った。くわえて、本分科会の英語版HPを作成するとともに、日本のデータセットの調査概要についても一部英訳してHPに掲載した。

・高周波音検討分科会

当分科会は、10kHzを超える高周波音を含む騒音の計測や評価に係る問題を調査研究すると共に、その解決に向けた検討を行う場として平成21年5月に発足し、今期、8名の委員で活動してきた。これまでは、新幹線鉄道や在来鉄道の曲線沿線における高周波音の発生状況や個々の計測機器間の高周波域の器差に伴う計測値の違いを主に報告してきたが、今年度初めの春季研究発表会で、鉄道曲線部での高周波音の発生要因解明を目的とした実測調査の結果や、人の聴こえに対する高周波音の影響を調べた聴感実験の結果を報告した。その後、こうした高周波音が人の聴こえに与える影響、とくに実験室の被験者試験で確認された「高周波音による不快感の増加」を実際の鉄道沿線で確認するための「人を対象とした現場実験」の準備作業を進めた。

1.2国内外の規格作成等に係る活動

平成25年度は国内外における規格作成について具体的な活動はなかった。

1.3受託調査研究業務の実施

騒音・振動制御に係る業務を受託し、騒音・振動技術の発展に努めた。平成25年度の受託調査研究業務は以下の通りである。

(1)平成25年度航空機騒音測定・評価方法講習会開催業務

委 託 先：環境省

実施期間：平成25年度

概 要：平成25年4月1日以降、航空機騒音は等価騒音レベルを基本とする評価指標である時間帯補正等価騒音レベル L_{den} により評価することとなった。評価指標を $WECPNL$ から L_{den} に変更することで、測定・評価方法の変更を伴うことから、測定事例を収集して、平成24年年11月にマニュアルの改訂版が発行された。このため、マニュアル改訂版の内容を周知し、新しい評価指標に対する航空機騒音の測定・評価手法を統一することを目的に、地方公共団体の職員を対象とした「航空機騒音・評価方法講習会」を開催した。

2. 研究発表会や講習会等を行う事業

2.1研究発表会の開催

(1)春季研究発表会

平成25年4月23日に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場として開催し、講演論文集

を刊行した。発表件数は31件、参加者実数は187名であった。なお、春季研究発表会はオーガナイズドセッションを取り入れた発表会形式となっており、平成25年の講演テーマと担当分科会は以下の通りである。

- 1) 音環境の未来を構想する(音環境デザイン分科会)
- 2) 設備機器発生音の低減対策(設備機器発生音測定法分科会)
- 3) アクティブコントロール技術の実用化を構想する(AC分科会)
- 4) 音環境評価のための屋外伝搬音長期計測(騒音伝搬分科会)

(2) 秋季研究発表会

平成25年9月5日～6日の2日間、熊本大学黒髪南キャンパス工学部1号館を会場として開催し、講演論文集を刊行した。発表件数は79件、参加者実数は191名であった。講演としてオーガナイズドセッションを以下のテーマで開催した。

- ・波動数値解析による屋外騒音伝搬シミュレーション
- ・環境省環境研究総合推進費による風車騒音に関する調査研究
- ・機械の静粛化技術 ―現状と今後の課題―

2.2 特別講演会等の開催(敬称略)

(1) 平成25年度定時総会(平成25年5月31日開催)において、特別講演会を開催した。

演題及び講演者は以下の通りである。

- ・「水・大気環境行政の現状と課題」：小林正明(環境省水・大気環境局長)
- ・「戦略的環境影響評価制度の現状と課題」：柳 憲一郎(明治大学法科大学院)

(2) 平成25(2013)年秋季研究発表会の1日目(平成25年9月5日)において、特別講演会を開催した。

演題及び講演者は以下の通りである。

- ・「イノベーションを引き起こす超軽量高強度材料― / KUMADAI / マグネシウム合金―」：河村 能人(熊本大学先進マグネシウム国際研究センター)

(3) 平成25(2013)年秋季研究発表会の1日目(平成25年9月5日)において、シンポジウム「子どもを取りまく音環境」を開催した。

コーディネータは川井敬二(熊本大学)、司会者は船場ひさお(フェリス女学院大学)で、演題及び講演者は以下の通りである。

- 1) 保育空間の音環境的現状 (前掲 船場 ひさお)
- 2) 幼児教育の空間と音環境 (千葉明德短期大学 由田 新)
- 3) 障碍児にとっての音環境のあり方(明治大学 上野 佳奈子)
- 4) 子どもが受ける騒音の影響 (北海道大学 松井 利仁)
- 5) 子どもの聴覚と音環境 (九州大学 白石 君男)
- 6) 子どものための音環境設計指針 (前掲 川井 敬二)

2.3 技術講習会の開催

平成25年度は技術講習会を5回開催し、騒音・振動技術の普及・向上に貢献した。実施した技術講習会は以下の通りである。

(1) 第86回技術講習会「騒音・振動技術の基礎と測定実習」

開催日：平成25年6月13日～14日

会場：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 中セミナー室

講師(敬称略)：坂本慎一(東京大学生産技術研究所)、岡田恭明(名城大学)、内田英夫(エヌエス環境(株))、松本泰尚(埼玉大学)、河野正秀(リオン(株))、佐藤利和(スペクトリス(株))、平田圭造((株)小野測器)

受講者数：1日目45名、2日目45名

(2) 第87回技術講習会「騒音対策の基礎と考え方」

開催日：平成25年10月4日

場所：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 中セミナー室

講師(敬称略)：井上保雄((株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング)、坂本慎一(東京大学生産研技術研究所)、古賀貴士(鹿島建設(株)技術研究所)、森 卓支(モリノイズコントロールオフィス)

受講者数：40名

(3) 第88回技術講習会「騒音の基礎的な測定実習」

開催日：平成25年11月29日

場所：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 中セミナー室

講師(敬称略)：内田英夫(エヌエス環境(株))、廣江正明(小林理学研究所)、篠原直明(成田国際空港振興協会)、

受講者数：16名

(4) 第89回技術講習会「騒音・振動の苦情処理」

開催日：平成26年2月5日

会場：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 大会議室

講師(敬称略)：桑原厚(環境省)、荒木真一(公害等調整委員会)、井上保雄((株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング)、横山栄(東京大学生産研技術研究所)、松島貢(千葉市環境保全部)、平松友孝((株)音・環境研究所)、門屋真希子(東京都環境科学研究所)

受講者数：77名

(5) 第90回技術講習会「防音・防振材の使い方と対策事例」

開催日：平成26年3月7日

会場：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 中セミナー室

講師(敬称略)：飯田一嘉(ブリヂストン KBC(株))、白石飛鳥(日本板硝子環境アメニティ(株))、宮崎明彦(特許機器(株))、千野勝利((株)サンエス工業)

受講者数：30名

2.4展示会の開催

平成25(2013)年秋季研究発表会(熊本大学：平成25年9月5日～6日)において、カタログ・材料・機器等の展示会を開催した。

2.5 普及啓発事業

公益社団法人として、学会の公共性を社会に発信するため、平成25年度は以下の活動を実施した。

(1) 千代田区「環境・リサイクル祭り」に出展

主催者：千代田区環境・温暖化対策課

開催日：平成25年6月14日(金)10:00～15:30

会場：区民ホール(千代田区役所1階)

展示内容：音の体感コーナー／騒音対策の体験コーナー／音クイズ／パネル展示等

(2) 愛知県「夏休み環境学習講座」に参加

主催者：愛知県あいち環境学習プラザ

開催日：平成25年8月23日(金)午前(10:30～12:30)、午後(14:00～16:00)

会場：あいち環境学習プラザ(愛知県東大手庁舎1階)

講座内容：生活中的騒音紹介／糸電話作り／騒音計を用いた測定／床衝撃音実験等

(3) 千葉県千葉市「サウンドスケープの教室」に参加

主催者：日本サウンドスケープ協会、千葉県立中央博物館共催

開催日：平成25年11月10日(日)午前(11:30～12:00)、午後(13:30～14:00)

会場：千葉県立中央博物館

講座内容：音の大きさ体験／高・低周波数音の体感／虫の音・航空機音の紹介等

2.6 若手研究者支援活動

Lawrence S.Fingold 氏より日本騒音制御工学会に「若手育成のための荘美知子・ファインゴールド記念基金」と称する寄付があり、基金を運用する一環として研究発表会に講演参加する学生への旅費支援を行った。

3. 会誌や学術書等の刊行を行う事業

3.1 会誌の刊行

「騒音制御」37巻2号から38巻1号の6冊を隔月1日に発行し、会員に配布した。主な内容は次の通りである。

巻		37					38	計
号		2	3	4	5	6	1	
本文ページ		80	53	59	61	42	79	374
主な 記事 ・ 論文	巻頭言						1	1
	総論	5	2	5	7	1	1	21
	解説	9 (1)			9 (2)	25 (4)	12 (2)	55
	技術資料	33 (6)	30 (6)	23 (5)	41 (8)	8 (2)	34 (7)	169
	会議報告	18 (5)						18
	エッセイ	3						3

	(2)						
新技術紹介			7 (2)				7
書評						1 (1)	1
投稿－論文							0
投稿－技術報告	7 (1)	16 (2)				7 (1)	30
投稿規定、執筆要領						8	8
委員会報告						10 (1)	10
情報コーナー	2	2	2	2	2	2	12
工学会報告	2	2	21	1	3	2	31
第37巻総目次					2		2
編集後記	1	1	1	1	1	1	6
工学会通信	10	6	8	10	8	8	50
広告	8	9	8	8	7	8	48
発行部数	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	8,700

注 1) カッコ内の数値は編数

- 2) 工学会通信の内容は、研究発表会の講演募集やプログラム、講習会開催案内、その他周知記事である。

また、各号の特集タイトルは以下の通りである。

- 37巻2号 「音響実験における様々な設備・装置」
- 37巻3号 「「音のデザイン」その1－騒音低減から快音化へ」
- 37巻4号 「「音のデザイン」その2－快音化を支える音質評価技術－」
- 37巻5号 「「音のデザイン」その3－快音化の新たな試み－」
- 37巻6号 「音響・振動によるさまざまな診断技術」
- 38巻1号 「音で知る計測技術」

前年度に引き続き、ツイッターを利用して、特集記事の情報を広く一般に発信した。

3.2 出版事業

一般の読者層や理系の高校生などを対象にした、様々な音や騒音に関するやさしい解説本シリーズ－Dr. Noiseの『読む』音の本－の出版に向けて編集作業を行った。「騒音の基礎」「振動の基礎」「音のバリアフリー」「低周波音のはなし」「航空機騒音のはなし」の5冊について執筆／編集を進めた。

4. 国内外の学協会等と交流する事業

(1) 国際会議の開催・準備等

平成26年に奈良で開催されるICBEN 2014の準備等に協力した。

(2) 国際学会への協力

国際騒音制御工学会(I-INCE)加盟団体としてその活動に協力した。

(3) 国内の他学協会等からの共催等の依頼

日本音響学会、日本機械学会、自動車技術会が開催する講習会、シンポジウム等に協賛した。

5. 業績表彰に関する事業

(1) 研究功績賞

騒音、振動、音・振動環境に関し、一連の研究あるいは著書の著作又は編纂の業績により、学術及び技術の進展に大きく貢献し、その功績が顕著である名誉会員又は正会員に贈呈される賞で、平成24年度の研究功績賞は、以下の3名に決定した。なお、賞の贈呈は平成25年度の定時総会の際に行った。

平成24年度研究功績賞受賞者(敬称略)

- ・古賀正輔「耐候性吸音材の実用化に関する一連の研究業績」
- ・山本照二「環境行政及び音響関連規格等に関する一連の研究業績」
- ・吉原 薫「プラントの実務的騒音制御手法に関する一連の研究業績」

(2) 守田栄論文賞

騒音、振動、音・振動環境に関し、学術及び技術の進展に貢献するところが大きい研究業績を学会誌に発表した名誉会員、正会員又は学生会員に贈呈される賞で、平成24年度の守田栄論文賞は、以下の論文に決定した。なお、賞の贈呈は平成25年度の定時総会の際に行った。

平成24年度守田栄論文賞受賞者(敬称略)

- ・田中ひかり、増田潔(大成建設(株)建築技術研究所)
「鉄骨造建物の重量床衝撃音遮断性能に関する検討」
ースラブの振動特性とFEMによる予測ー

(3) 環境デザイン賞

都市環境、住環境、作業環境、車室内環境等の快適性向上のための計画、実施事例、研究、技術開発などの音・振動環境の改善に優れた業績を挙げた法人、グループ又は個人に贈呈される賞で、平成24年度の環境デザイン賞は、以下の3法人に決定した。なお、賞の贈呈は平成25年度の定時総会の際に行った。

平成24年度環境デザイン賞受賞者(敬称略)

- ・株式会社大林組
「発破低周波音消音器「ブラストサイレンサー」の開発」
- ・鹿島建設株式会社
「天井に反射面をもつオープンプランオフィスの音響設計」
ー鹿島技術研究所本館ー
- ・西日本旅客鉄道株式会社
「緩衝工内吸音処理による新幹線鉄道トンネル抗口騒音の低減」

(4) 研究奨励賞

騒音、振動、音・振動環境に関する学術及び技術の奨励のため、研究発表会で優秀な研究を講演発表を行った者で、有為と認められる新進の研究者、技術者に贈呈される賞で、平成24年度の研究奨励賞は、以下の6名に決定した。なお、賞の贈呈は平成25年度の定時総会の際に行った。

平成24年度研究奨励賞受賞者(敬称略)

- ・川口二俊(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
「鉄道の曲線軌道における高周波数域のレール振動特性」
- ・白幡桂子(新潟大学)
「埋込型ヘルムホルツ共鳴器とネック延長部品を付加した孔あき板の吸音特性について」
- ・内野敬太(株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング)
「ダクト系消音器の音響・空力性能試験装置」
- ・小林知尋(千葉工業大学)
「風車騒音に含まれるSwish音の物理特性について」
- ・西村昌也(ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社)
「線路上空構造物が鉄道沿線騒音に与える影響」
- ・太田達也(株式会社ニューズ環境設計)
「新幹線走行時の地盤振動波形を用いた走行速度の測定」

Ⅲ. 騒音及び振動に関する認定技士の資格認定を行う事業(その他の事業(相互扶助等事業))

騒音または振動の分野における学術技術に関して高度の専門的能力を有する方に対し、資格制度に基づき、公益社団法人日本騒音制御工学会認定技士の資格認定を行うとともに、活動の強化を図っている。

Ⅳ. 公益社団法人日本騒音制御工学会名誉会員

平成25年度定時総会において次の者を名誉会員に推薦した。

塩田 正純 昭和17年7月17日生

工学博士

昭和43年3月 東京工業大学(工業教員養成所)建築学科卒業

(社)公害防止協会、石川島播磨重工業(株)技術研究所、飛鳥建設(株)

技術研究所を経て(元)工学院大学工学部教授

本会における主な業績

- ・当工学会の発展に尽力された
- ・第17期会長、第13期副会長として当工学会の運営にあたられた
- ・第12期及び第14期役員として当工学会の運営にあたられた
- ・第15期及び第16期評議員として尽力された
- ・平成8年度研究功績賞(論文)受賞
- ・平成22年度研究功績賞(業績)受賞